

# 古版本の目録作成

—『稀覯書の書誌記述』に沿って—

—橋大学社会科学古典資料センター—

床井 啓太郎

## 社会科学古典資料センターについて

- 1978年設立。1850年以前に刊行された西洋古典資料を一括管理するほか、メンガー文庫、ギールケ文庫、フランクリン文庫など世界的に著名なコレクションを収蔵。
- 現在の蔵書数は7万5千冊余。
- 西洋古典資料の保存修復を専門に行う工房を併設。

1994年より所蔵資料全点を対象とした保存修復事業を続けている。

## センターで使用している目録規則類

- 『英米目録規則(第2版日本語版)』(AACR2)東京, 日本図書館協会, 1982.
- 『稀覯書の書誌記述』国立, 一橋大学社会科学古典資料センター, 1986.(一橋大学社会科学古典資料センター Study Series, no. 11)
- Anglo-American cataloging rules. 2.ed., 1998 revision. Chicago, American Library Association, 1998.
- Bibliographic description of rare books. Washington, D.C., Library of Congress, 1981.
- Descriptive cataloging of rare books. 2.ed. Washington, D.C., Library of Congress, 1991.
- Descriptive cataloging of rare materials (books). Washington, D.C., Library of Congress, 2007.
- 『目録システムコーディングマニュアル』東京, 国立情報学研究所.
- 『目録情報の基準 第4版』東京, 学術情報センター, 1999.

## 『稀覯書の書誌記述』とは

- AACR2における初期刊本に関する規程(2.12-2.18)を拡張した*Bibliographic description of rare books*.  
Washington, D.C., Library of Congress, 1981の邦訳
- 『稀覯書の書誌記述』国立, 一橋大学社会科学古典資料センター, 1986.(一橋大学社会科学古典資料センター Study Series, no. 11)
- 1991年に第2版、2007年に第3版が刊行されている

## 『稀覯書の書誌記述』の適用対象

- 造本においてヨーロッパ的伝統を踏襲する諸国の出版物で18世紀以前に印刷された資料
  - 手によって、または手刷り印刷本の伝統を受け継ぐ方法によって印刷された資料
  - 所蔵機関の管理方針として、AACR2が規定する以上のさらに詳細な記述のレベルを選択する場合
- 上記の条件に当てはまっても、『稀覯書の書誌記述』を必ず適用しなくてはならないわけではない

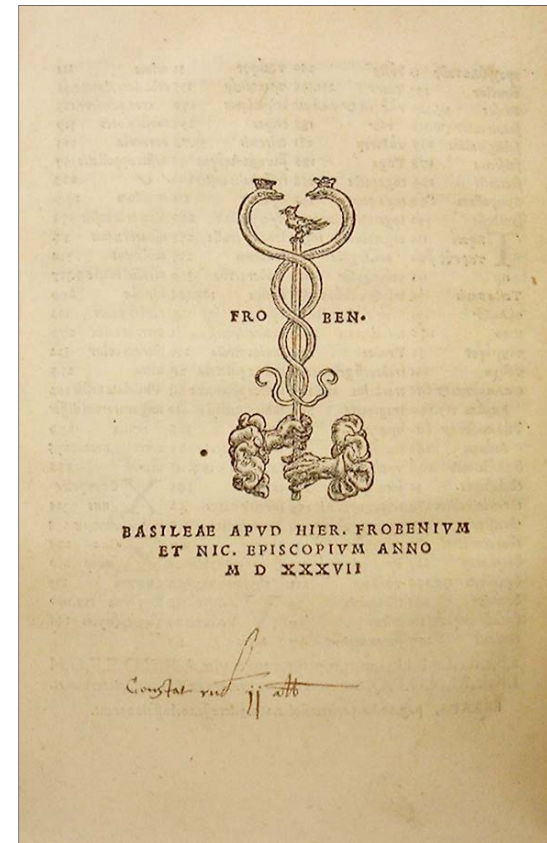
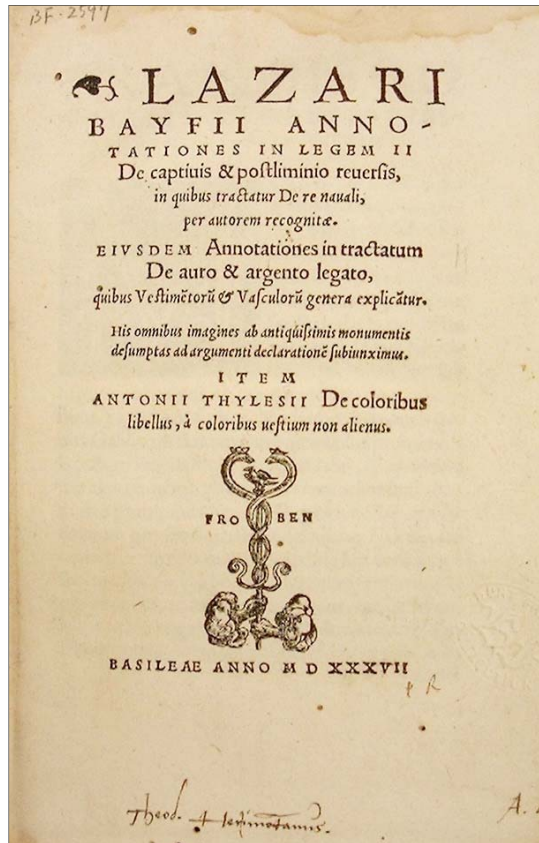
## 目録作成: 対象資料

- Lazari Bayfii Annotationes in legem II De captiuis & postliminio reuersis... .Basileæ, Apud Hier. Frobenium, 1537.【Franklin:2597】



## 目録作成: 対象資料

- Lazari Bayfii Annotationes in legem II De captiuis & postliminio reuersis... .Basileæ, Apud Hier. Frobenium, 1537.【Franklin:2597】

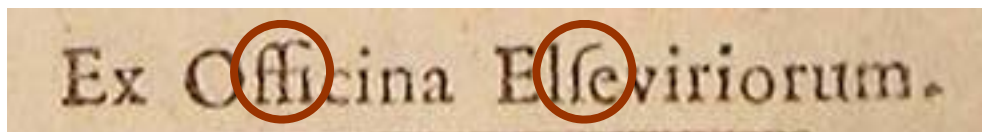


## 目録作成:【TR】

- I.1 “Lazari Bayfii”=「ラザル・バイフの」: 書名に掛けて著者名を表している。

→属格で掛っている場合タイトルと分離できないため、そのままタイトルとして記録する。

- ロングsとfを間違わないように気を付ける。横棒が右に突き抜けているのがf。



\* "Ex officina Elseviriorum"



## 目録作成:【TR】

### □ "I / J"、“U / V / W”の転記に注意する。(OH.)

#### ・小文字に転記する場合

IまたはJをiとする

IIをiiとする

IJをijとする

UまたはVをuとする(ただし、頭文字の位置におけるUまたはVをvと転記する)

VVをuuとする(頭文字の場合はvv)

#### ・大文字に転記する場合

iをIとする

jをJとする

UまたはvをVとする

uuまたはvvをVV(すなわち、大文字V二つ)

\* 1.7 “EIVSDEM” → “eiusdem”

## 目録作成:【TR】

- 本タイトルは一般に短縮しない。例外として、本タイトルが極めて長く、かつ情報の本質を損なうことなく短縮できる場合は、重要でない語または句を省略できる。(1B8.)

→ AACR2 1.1B4. 長い本タイトルは、不可欠な情報を損なわない場合に限って、縮約する。

- 責任表示は一般にすべてを記録する。個人または団体の名が非常に多数であるときは、4人以上は省略する。(3人目までを記録する)(1G5.)

→ AACR2 1.1F5. 単一の責任表示中に4人以上の個人または団体の名称が含まれる場合は)...最初の一人もしくは一つだけを記載し、他はすべて省略する。

## 目録作成:【TR】

- マニユスクリプトの伝統を継承する印刷者によって短縮のための特別な符号が使用されているときは、その語は完全な形に拡張し、補った文字は角がっこにいれて示す。(1B8.)



Vestimentorū & Vasculorū

\* " vestime[n]toru[m] & vasculoru[m]"

## 目録作成:【ED】

- 版表示、またはその一部分をタイトルページ以外からとったときは、その情報源を注記エリアに示す。(2A2.)

\*『稀覯書の書誌記述』版エリアの規定の情報源

- ・タイトルページ
- ・タイトルページ裏
- ・先行部分(表紙など)
- ・奥付

(AACR2に同じ)

→タイトルページ裏、先行部分、奥付からとった場合は、注記するが、角がっこ表記にはしない。

## 目録作成:【ED】

- 別刷 (issues) または刷 (impressions) に関連する表示は、その出版物が以前の版と変わっていなくても版表示として記載することができる。(2B2.)

→コーディングマニュアル 4.2.2H1 AACR2の1.2B3では、...edition, issue, versionといった語があれば、それを版表示とみなすと規定されている。ただし、...そのまま適用できない場合があるので、注意が必要である。

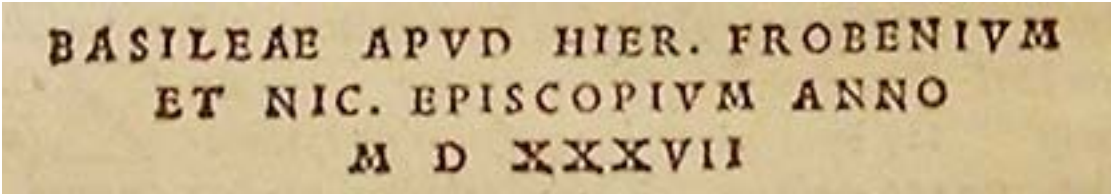
→コーディングマニュアル 4.2.2H1 ...版の表示があっても、それが単に「刷」を意味するようなものであるならば、その情報はEDフィールドに記録してはならない。

## 目録作成:【PUB】

- 出版などのエリアのどの部分でもそれをタイトルページ以外からとったならば、その情報源を注記エリアで示す。(4A2.)

\* NOTE: Publisher statement from colophon

→課題資料では出版者情報がタイトルページに無く、奥付に記載されている(図表2)。15-16世紀の刊本では、写本時代の慣習から出版者・印刷者情報が奥付に記載されることが多い。



BASILEAE APVD HIER. FROBENIVM  
ET NIC. EPISCOPIVM ANNO  
M D XXXVII

## 目録作成:【PUB】

- 出版者などの名は、完全な正字法形式で、かつ文法的事実(先行する必要な語句とともに)によって転記する。(4C2.)

→ AACR2 1.4D2. 出版者名、頒布者名などは...最も簡潔な形で記載する。

- 出版者に関連する表示が二つ以上あるときは、一般に、表示されている順序ですべてを記録する。(4C6.)

→コーディングマニュアル 2.2.3F1 出版地、出版者等が複数表示されている場合は、顕著なもの、最初のもの順で、記録する。...2番目以降は「選択」である。

\* PUB: Apud Hier. Frobenium et Nic. Episcopium  
(PUB: Frobenius とはしない)

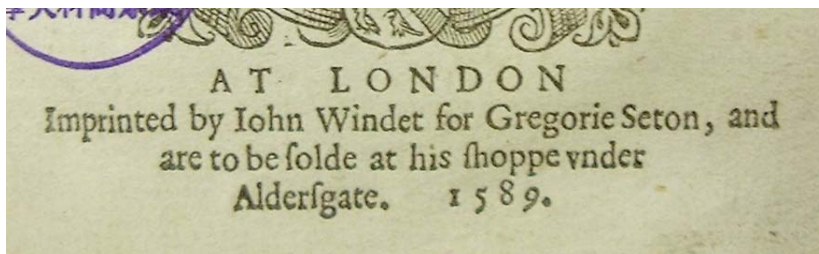
## 目録作成:【PUB】

- ローマ数字の表記:M=1000, CIↀ=1000, D=500, Iↀ=500, C=100, L=50, X=10, V=5

\*M D XXX VII=1537

- 出版地の名の前にある前置詞は転記中に含める。(4B2.)

→ AACR2 1.4B4. 土地、個人、団体の名称は、付随している前置詞を省略してそのまま記載する。



\* "London" ×

"At London" ○



## 目録作成:【PUB】

- 2つ以上の場所が示されていて、それが同等の重要性をもち、かつその場所がすべて同じ出版者、頒布者または印刷者に関連しているときは、そのすべてを記録する。(4B6.)
  - AACR2 1.4C5. 出版者、頒布者などの事務所が2箇所以上であり、それらの地名が記述対象に表示されている場合は、最初に出ている地名を常に記載する。  
...その他のすべての地名は省略する。
- 出版地が略語で表示されている場合は、その表示のまま記録して、略語でない形を付記。  
  
Lugd. Batav. = Lugdunum Batavorum = Leiden  
\*PUB: Lvgd. Batav. [Leiden]

## 目録作成:【PUB】

- 『稀覯書の書誌記述』においては、印刷者の名前や場所は、出版者・頒布者のそれと同等の位置付けが与えられている。印刷者の名がタイトルページに表示されているときは、別に出版者表示があるなしに関わらず記録する。(4C2.)
  - AACR2 1.4G1. 出版者名が不明の場合は...製作地および製作者名を記載する。
- 出版年または印刷年を日および月を含めて記載する。(4D1.)

## 目録作成:【PHYS】

- (任意で)挿図の工程や技術を付記する。(5C1.)
  - \* PHYS: ill. (woodcuts)
  
- 1800年以前の出版物については、版型を決定できるときは必ずそれを付記する。(5D1.)
  - \* (4to)=4折版
  
- 印刷のない丁またはページ、広告類も数量の表示に含める。広告類を記録した場合は、必ず注記でそれを示す。(5B1.)
  - AACR2 2.5B3. なくてもよいもの(広告、白紙ページなど)で番号づけのない部分は無視する。
    - \* PHYS: 323 [i.e. 319], [9] p.

## 目録作成:【VT】

- <TR>の記述は、“I / J”、“U / V / W”の転記により資料の表示形と異なるため、転記する前の表示形をVT:TTにそのまま記述し、アクセスポイントを作成する。

## 目録作成:【NOTE】

- 必要があれば折記号の細目を記載した注記を作成する。インキュナブラについては一般に記載する。細目はガスケルの方式 (Gaskell, Philip. *A New Introduction to Bibliography*, New York, 1972) に従う。(7C9.)
- \* NOTE : Signatures: a-r[4] s[6] t-z[4] A-E[4] F[6] G-M[4] N[6] O[4] P[6] Q[4]

## 目録作成:【NOTE】

- 挿図のより完全な細目を記載する。(7C10.)
  - \* NOTE: Frobenius device, the caduceus, on t.p. and (larger variant) on last page
  
- ページ付けの誤りや抜け等がある場合は、なるべく詳しく注記する。
  - \* NOTE : Errors in paging: no, 301-304 omitted

## 作成書誌

Lazari Bayfii Annotationes in legem II De captiuis & postliminio reuersis : in quibus tractatur de re nauali, per autorem recognitæ : eiusdem Annotationes in tractatum De auro & argento legato, quibus vestime[n]toru[m] & vasculoru[m] genera explica[n]tur : his omnibus imagines ab antiquissimis monumentis desumptas ad argumenti declaratione[m] subiunximus : item Antonii Thylesii De coloribus libellus, à coloribus uestium non alienus

出版者 Basileæ : Apud Hier. Frobenium et Nic. Episcopium  
出版年 1537

形態 323 [i.e. 319], [9] p. : ill. (woodcuts) ; 23 cm. (4to)

注記事項 Includes extensive quoted texts in Greek

Half title, p. 149: Lazari Bayfii De re vestiaria; p. 241: Lazari Bayfii De vasculis; p. 305 (erroneously for 301): Antonii Thylesii Cosentini Libellus de coloribus

## 作成書誌

Publisher statement from colophon

Frobenius device, the caduceus, on t.p. and (larger variant) on last page

Signatures: a-r[4] s[6] t-z[4] A-E[4] F[6] G-M[4] N[6] O[4] P[6] Q[4]

"Index tam Græcarum quam Latinarum dictionum quæ in his quatuor libellis explicantur" at end

Carolus Stephanus ... lectori s. : p. [7] (1st group)

Errors in paging: no, 301-304 omitted

[Franklin:2597] With this is bound: Francisci Marii Grapaldi, Parmensis, De partibus ædium, lexicon utilissimum.

Basileæ : Apud Ioan. VValderum , 1533

著者標目 Baïf, Lazare, de, 1496-1547

Telesio, Antonio, 1482-1533

Estienne, Charles, 1504-ca. 1564